

## 平成 29 年度 栗田保育園 「自己評価と学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の保育目標

信学会の教育理念と教育・保育の目標のもと、無限の可能性を秘めている子どもたちが、集団生活を通して生き生きと過ごし、望ましい未来をつくり出す力を培うことを目標に保育をおこなう。

### 2. 本年度の重点目標

『心身ともに 健康な子ども』～明るく のびのびと～

・ 育てたい子どもの姿

- 1, 生活する力（基本的生活習慣、食事、整頓・着替えなど）
- 2, 人と関わる力（思いやり、認めあい、感謝の心、意見を言う、意見を聞く）
- 3, 学びの芽を培う（豊富な体験から、意欲、興味関心、好奇心を育む）

・ 長野の四季の自然や風物詩を肌で感じ味わい、楽しい行事などから日本の心に接し、遊びの中で人との関わりを学んでいく、感謝の心を持った天真爛漫な子どもを育てたい。

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	C
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施（学校関係者委員会（モニター会）を設置している。）	B
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B☆
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

☆通常業務だが、全て親の都合に合わせることで子の養育上良いこととは思えない。

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・市福祉監査室による指導監査・保育課の立入監査・市指導員の巡回指導の対応だけで十分と思う。その上に次年度からの第三者評価事業者の導入で、公表されている内容的には指導監査並の対応が考えられ、この種のこと、法的根拠があるとしても、これ以上の労力を割くことに疑問を感じる。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・重点を置いて取り組んだ地域・異世代・小学校の各交流と各種体験活動は七瀬町・芹田社協・南部小・JR市芸術館・更級農業高・JA 長野・メルパルク・長野電鉄・82BK 本店・信金七瀬・ドンキホーテ・デリシア・ABN 等のご協力により目標をかなえることができました。次年度も新たな体験活動を模索していきたい。
- ・園内研修が積極的にできた上、キャリアアップ研修の有効利用で充実した研修ができた。

※ 詳細は事業報告書による。